

将来を見据えた構想を 飯田市市政懇談会

去る七月二十一日に、恒例の市政懇談会（主催＝飯田市・飯田市政会）が、市長以下市理事者・部長、市議会代表者列席のもと、自治会・公民館委員及び地区内各種団体長が出席し、竜丘公民館を会場に開催された。まず、市側から重点施策や、土曜閉庁等についての説明がされた後、自治会と公民館が代表し、下水処理施設の建設、古墳の保存、民俗資料館の建設、ギフチヨウの保護等、地区における諸課題を提案、要望し、それぞれ

の事項について、熱心な質疑応答が行われた。市と地区との公的な意見交換の場として開かれたこの懇談会で出された各事項が、これを機に一歩でも前進することを期待したい。

地元からは四件の提案事項が提出された。
（一）竜丘地区への、下水処理施設の建設についての具体的な計画を持つているのか、又時期的な見通しについてどうか。
（二）古墳の保存と、治水事業に伴う土運搬道路について、付近の周景等を破壊することのないよう路線の決定を切望する。又市指定史跡である塚原二子塚の買い上げを要望する。
（三）民俗資料館建設について現在収蔵している施設の老朽化が著しく、保存環境は極めて悪い。美博の民俗部門の収蔵、展示、研究施設としての位置付けを行う中で、考古資料館の移転新築

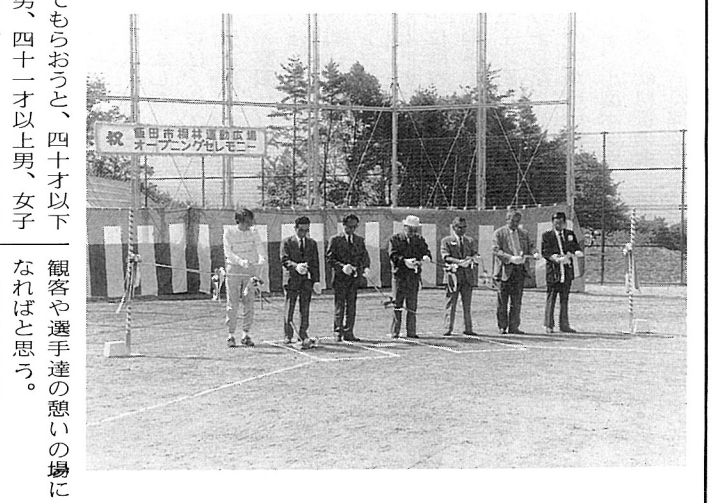
が変更されたが、出足は悪く春二敗で出発。しかし、年間成績は、六大会で、優勝一回、三位二回と、今までにない成果を納めた。反省会も中断されていたところ松永敏一氏宅をお借りでき

路と、文化財保護の問題とを今後どのように調整していくか、住民の意見を聞く中で決定をしたい。
二子塚古墳だけを買ひ上げて、古墳公園として機能しない。点在する古墳をいかに保存しながら、今後に残すか重要な問題で、地域住民と連携をとりながら対応していきたい。
（三）資料の保存については市全体の立場で今後も、山本の旧中学校校舎を当面収蔵施設にあて、地域の民俗資料の集積、調査を行なっていくこと。
埋蔵文化財が地域開発に伴い多量に収蔵されている現在「埋蔵文化財調査研究

センター」を検討中であり今後地域の考古資料、民俗資料等をどのように活用していくかを美術博物館との連携の中で考えている。
（四）生物の保存は自然が大切であるが、治水対策事業との関わりの中で、ギフチ保護の市民運動を継続しながら、行政としても協力し盛り上げていきたい。土取場の跡地利用は今後地元との検討課題である。
このように市側の考え方が示された。将来の竜丘を見据えた中での開発、あるいは方向性（構想）を探る必要に、今たざされている。

実った地区民の願い 運動広場オープン 分館対抗ソフトボール大会

去る五月二十八日に、桐林総合運動広場のオープンセレモニーが、分館対抗ソフトボール大会と併せて、二百名余の参加を得て行なわれた。



観客や選手達の憩いの場になればと思う。
四十才以下男子
優勝 時又分館
準優勝 長野原分館
優 勝 桐林分館
優 勝 時又分館
女子の部
優勝 桐林分館
準優勝 長野原分館

グループ紹介

昭和五十七年頃より話のついでに六十才以上のソフトボールチームが結成されたのは、五十九年六月。前沢五雄、吉川正三両氏の骨折りで三十余の会員が集い前沢氏を会長に発足、「竜丘中老ソフト」と命名した。
この年は、ユニホームを新調するも、年間四つの大会で三位が一回で終わる。六十年は三月三十日に春の選抜高校野球を甲子園に見学。この年から飯伊の春秋大会も入り、年六回の大会となったが、戦績は、依然と振るわず、六大会中三位が一回だった。翌六十一年には吉川忠規新会長を迎え

一同張り切ったが、成果は上がらず前年と同じ様な結果で終わる。練習に参加する人が少なく意気も揚がらずに過ぎた。
そんな折、吉川正己氏宅をお借りしての反省会に親

「中老ソフト」ではおかしいとの意見が出され「竜丘ソフト」と改名したところ。私達はソフトを通じてチームワークの大切さを知り

睦が深まり、勝ちの数も多くなって欲も出てきた。しかし、結果は今一つで、ここの時に負けてしまう。こんな中で、会員も二十六名に減少した。
六十二年には、私に会長

るようになり、反省会の中で夫婦同旅行の意見が出十一月に一泊二日の伊勢参りで納会を行った。
さて、私達ソフトチームは、楽しみながら健康維持を目的にしているのだから

開会式の後、テープカットが行なわれ、祝辞、概要説明及び使用説明が行なわれた。始球式では、各種スポーツ団体の代表が守備につき行なわれ、参加者から盛大な拍手が上がった。
十数年来の地区民の要望であり、住民一人当りの面積が、飯田市中で最低である事が指摘されてきたグラウンドで、長年不自由を感じてきたが、ようやく待望の運動広場が完成した。
竜丘小グラウンドと共に、積極的に有効利用をし、使用希望者は、公民館へ問い合わせを欲しい、との事。

この様に失われていく文化財が地域に沢山あるが、このままでは消滅してしまふので記録して地域の人達に知ってもらおう。又、後世に残して子供達や他の人達にもわかる様にと、古墳を考える会が中心になり、ソフトボール大会に参加し

地域再発見 ふる里歴史散歩みち

現在竜丘地区に現存する古墳が三十五基、わずかに痕跡を残す古墳を合わせて四十一基ある。しかし、古墳時代中期から後期に亘って築造された古墳の総数は百三十八基になっている。人知れず消えていった古墳の数は三分の二以上である。
この様に失われていく文化財が地域に沢山あるが、このままでは消滅してしまふので記録して地域の人達に知ってもらおう。又、後世に残して子供達や他の人達にもわかる様にと、古墳を考える会が中心になり、ソフトボール大会に参加し

マップ作成時には、徹夜した事もたびたび有り、大変苦労した様です。だいぶ配布されて日が経ってしまふが、一回見ただけでも竜丘のどこに何があるのか、あったのか、子供さん、

家族でくり返し見ていただき活用していただきたい。





発行所
飯田市竜丘公民館
編集人
竜丘公民館広報委員会
印刷所
龍共印刷株式会社
上郷町黒田 22-5353

人口	6,262人
男子	3,016人
女子	3,246人
世帯数	1,746戸

(8月末現在)

今、私達が主体となって!!

平成元年度竜丘公民館基本方針、事業計画決まる

平成元年度竜丘公民館事業計画は、五月十八日の委員総会において決定された。桐林上段開発等で地域が大きく変わろうとしている状況の中でビジョンを持ち計画する事が重要な課題となっている。それにはまず私達が主体となり地域課題を掘り起こし、それら課題の解決の糸口を探ってゆかなければならない。

桐林上段開発、治水対策事業等の行政レベルの大型プロジェクトが実施、計画され、また民間による一五号線沿線、時又港等を中心とする開発、整備も進捗しつつあり、地域そのものは大きく変わろうとしている。こうした状況の中で、住民自らが地域の動向を見据え「開発と環境保全」「物的豊かさ」と心の豊かさの調和の保たれた地域づくりを長期的な展望を持ってプランニングしてゆく事が重要である。

また、宅地化の進行により竜丘地区の人口は年々増加しているが、半面減少傾向にある地区もあり、五地区の状況を一律的に捉える事は出来ない。

現在資料館に集められている物の数は約三千点にのぼり、ホールに展示されているのはその中から、旧石器時代から江戸時代までの

鉛筆について

開善寺の境内に面した、古代の高床式住居を思わせる建物があります。それが飯田市考古資料館です。そこには飯田市近郊から発掘された多くの土器や石器など様々な貴重な歴史の資料が集められています。

龍丘の中でも古墳を考へる会により、古墳地図ができるなど、古墳などの郷土史が見直されてきているので、それにちなみながら、上川路にある考古資料館を訪ね、管理されている佐々木さんにお話をうかがいま

守ろう文化財

飯田市考古資料館

訪ずれるそうです。又佐々木さんのお話の中で、龍丘という地区は多くの古墳や、文化財をかかえているせいか、多くの住民が文化財に関心を持っています。この資料館

は月曜日の休館の他は朝九時から午後五時まで開いており、他県からの観光客の他、地域の熱心な考古学ファンの方々や、小・中学生が夏休みの研究課題として訪ねてくる方もいます。

田市では、一般の人が見ることが出来るのはこの一ヶ所しかないが、まだまだ多くの考古・民俗資料が眠っていると考えられ、それら多くの文化遺産を大切に保

て最も身近な分館の活動を重視し、分館との密接な連携を保ちつつ、その内容充実のための連絡調整と援助を行う。

5. 住民にとつての「自己実現の場」、地域にとつての「自治確立の場」としての公民館の果たすべき役割を再確認し、生涯学習構想も踏まえながら、今後の公民館運営と事業展開の在り方について調査・研究を行う。

2. 地域住民の自由な学習交流の機会を保障し、学習意欲の具体化・組織化についての援助をしていくことにも、社会教育関係団体・関係サークル等についても密接な連携を保ちながら、それらの活動が活発化し、かつ自主的な運営ができるよう必要に応じた援助を行う。

3. 住民の健康増進及び住民相互の親睦と交流を図るための社会体育活動の重要性を再認識し、その内容の充実にスポーツ人口の底辺の拡大を図る。

4. 地域に根ざし、住民参加による公民館活動を推進するため、地域住民にとつて



市民手づくりによる文化事業の実践を通じ、地区民の交流と学習の場を提供し、これからの展望を主体的に描くための学習活動の組織化と援助を行う。

光る汗が

団員の連携に

竜丘消防団操法大会

去る七月二日曜日竜丘小学校グラウンドにおいて、消防団員の操法技術の向上と、日頃訓練した技術を競う、竜丘消防団操法大会が開催されました。天候にも恵まれ絶好のコンディションの中、時又、長野原、駄科、桐林、上川路の各班の代表二チーム、合計十チームで争われました。

この中から自動車の部で時又班、小型ポンプの部で桐林班、駄科班の各一チームとラッパの部でラッパ班



市役所支所長 勳 柄 武 司

就任以来早半年を経過しましたが、自治会を中心として各種団体の会議や事業への参加を通じ、ようやく住民の方々と顔見知りになれたところです。

紙面を通じ公民館の現状を伝えるとともに、地域生活課題について住民の声を載せながら問題提起してゆく。地域への広報、広聴活動を行なう。委員研修、二〇〇号記念縮刷版の発行準備を進める。広報年五回発行予定。

〔民俗資料保存委員会〕
地域の有形・無形民俗資料を後世へ伝えるための収集、保存活動を行ない地域に公開してゆく。民俗資料館の維持管理、収集品の整理と補修及び収蔵品の整理学習会、公民館所蔵写真の整理、文化祭参加の予定。

〔学級、講座等〕
竜丘地区基本構想、基本計画の策定、竜丘市民セミナーとして古墳を考へる会他、昆虫教室など予定。



火点は無火災

の計四チームが、七月十六日に飯田東中で行なわれた、飯田市消防団消防技術大会に竜丘の代表として参加されました。

ヤブ蚊

記録的な残暑も彼岸を境にやわらぎ、すすきの穂陰で虫達が囁き始める夕暮、ふと昔を思い出し出してみるとどこか違う、子供達の声がないのだ。時代が進むにつれて子供達の遊び声が段々うすれてきた様に感じる。我々の、少年時代、といってもほんの十数年前であるが、子供達は学校から帰ると、カバンを玄関に置いたまま遊びに出掛けたものであったが...

今の子供は、学歴社会を生きぬく為に早くから塾に通う様になり遊ぶ時間が短縮される、わずかな時間も友達と過ごす術がわからずマンガを読んだり、テレビゲームに熱中する様になる。我々は遊びの中から、友達の大切さ、自然の素晴らしさ、そして命の尊さを体で学んだものだ。しかしその時代を生きた今の大人達が、自分の子供となるとあまりに学習を重視する姿には腹立たしさを覚える。青少年の凶悪犯罪増加の要因には、そんな大人達の造り出した学歴社会が根本にある。しかし最も恐ろしいのは、子供自身がこの状況に違和感をもたなくなってきた事である。一計を案じた某小学校では、友達と遊ぶという宿題があるらしい、あまり感心はしないが何もしないよりはましである。

子供は、友達と遊ぶ中から創造性や個性をのび人間らしい心を育てる、すべての大人がすべての子供達に対し、自分の子供と同じ気持ちで接する事で、連続誘拐事件や、隣近所の無関心といった社会体質を改善し、子供が伸び伸び遊べる生活環境を確保したいものだ。私も二児を持つ父親として考えさせられる。